

## 日仏鉄道技術シンポジウム2017を共催しました

平成29年5月10日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、日仏工業技術会、在日フランス大使館が主催する「日仏鉄道技術シンポジウム2017」―都市鉄道と近未来―を公益財団法人日仏会館とともに共催いたしましたのでお知らせいたします。

日仏鉄道技術シンポジウムの開催は、2007年（第1回）、2012年（第2回）に引き続き、今回で3回目となります。今回は、「都市鉄道と近未来」をテーマとして、パリ交通公団（RATP）、アルストム社およびフランス運輸・整備・ネットワーク科学技術研究所（IFSTAR）の専門家をお招きして開催しました。

鉄道総研はIFSTARと共同研究協定を結び研究協力を進めており、今回、IFSTARを含むフランスの鉄道関係組織等との間で、自動運転、AI、IoT等の最新技術の動向や都市鉄道への適用について情報交換を行うため、本シンポジウムを共催しました。

日本からは、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、元東京都交通局および鉄道総研の専門家が参加しました。シンポジウムでは、下記の通り、テーマに沿って日仏の専門家から両国での都市鉄道における共通の課題を明らかにするとともに、近未来に向けた解決の道筋を示す7件の講演がありました。鉄道総研からは、熊谷則道理事長が共催挨拶を、渡辺理事が講演を行いました。

シンポジウムには、国内外から約110名の方々に参加頂き、講演の後の質疑では、参加者間で都市鉄道の現状や課題について活発なディスカッションが行われました。

### 記

1. 日 時 平成29年4月23日(日) 13:30~18:00
2. 場 所 日仏会館（恵比寿）
3. 主 催 等  
主 催 : 日仏工業技術会、在日フランス大使館  
共 催 : 公益財団法人日仏会館、公益財団法人鉄道総合技術研究所  
後 援 : 国土交通省、パリ交通公団（RATP）、東京地下鉄株式会社  
協 賛 : 一般社団法人日本鉄道技術協会、一般社団法人日本地下鉄協会
4. プログラム (講演順)

開会の辞	日仏工業技術会会長 高橋裕氏
挨拶	公益財団法人日仏会館 副理事長 横山悠喜氏
共催挨拶	公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事長 熊谷則道
来賓挨拶	国土交通省 大臣官房技術審議官（鉄道局） 潮崎俊也氏 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 西山隆雄氏
講演①	「JR東日本がIoT×AIで目指すモビリティ革命」 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 総合企画本部 技術企画部長 JR東日本研究開発センター所長 横山淳氏

- 講演 ② 「Parisian Metro Network Modernization, Energy Saving and Automation  
《パリのメトロネットワークの近代化、エネルギーの節約とオートメーション》」  
RATP 技術部長 ジャンーマーク・シャロウ氏  
鉄道輸送システム長 クロード・アンドロウエ氏
- 講演 ③ 「ネットワークとシミュレーションによる鉄道の革新」  
公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事 渡辺郁夫
- 講演 ④ 「東京メトロの技術開発」  
東京地下鉄株式会社 企業価値創造部長 小坂彰洋氏
- 講演 ⑤ 「東京周辺の軽量輸送システム」  
元東京都交通局 古田勝氏
- 講演 ⑥ 「Alstom Business with Japanese Urban Transport  
《日本の都市鉄道とアルストムのビジネス》」  
アルストム 国際ビジネス顧客部長 ジェラルド・コワルスキー氏
- 講演 ⑦ 「R&D on Railway Infrastructures and Systems at IFSTTAR  
《IFSTTAR での鉄道インフラとシステムにおける R&D》」  
IFSTTAR 材料構造部 次長 ブルーノ・ゴダー氏
- 総括  
閉会の挨拶  
在日フランス大使館 ピエール・ファルダン氏  
日仏工業技術会 鉄道交通委員会 委員長 菅建彦氏



写真 1 : 共催挨拶をする熊谷理事長



写真 2 : 講演する渡辺理事



写真 3 : 講演会の様子